

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2090100237		
法人名	株式会社長野介護センター		
事業所名	グループホームまめじま		
所在地	長野県長野市大字大豆島833ー1		
自己評価作成日	令和6年9月20日	評価結果市町村受理日	令和 6年 11月 28日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&ligosyoCd=2090100237-00&PrefCd=20&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和6年10月25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員一人ひとりが「奉仕の精神」をしっかりと持ち、利用者の方々が安心して生活の出来る「安らぎの空間の提供」を基本理念とし、これらの実現の為、地域の方々に来て頂き、交流の機会を設けたり、利用者の方々にも自分のひ孫位の子供たちとの交流の機会を設けたり、ホームでの行事や日々の生活の中で「楽しんでもらう事」を意識して対応を行っています。日常生活の中で出てくる色々な不安や入居者一人ひとりが抱える様々な思いを一つずつ丁寧にきき取り、各利用者の皆さんにあった支援をしていき、「穏やかに(安心して)生活をしてもらう事」。これをホームの目標として取り組んでいます。コロナ禍により、ホームで今まで行っていた事が思うように出来なくなり、その中で「コロナと共にどう過ごしていくか?」(共存していくか?)」その形を模索しながら、利用者の方々がコロナやそれ以外の感染症等に対しての不安やストレスの軽減に努めています。ホームを開所して15年が経過し、10年以上入居されている利用者もいる状況で、それに伴い加齢による身体レベルの低下による重度化が進んでいる為、入浴について特殊浴槽での対応や、介護用ベッドに加え、床ずれ防止の為、エアマットレスも増やし、ホーム内の設備を強化し、提携病院との連携もより密にしており、今後利用者の皆さんが身体の状態が悪くても不安なく穏やかに毎日を過ごす事が出来るよう支援しております。災害時の対策として太陽光発電を導入し、緊急時の施設の稼働が出来るよう環境面の整備を進めており、定期的に防災訓練等を通じ、スタッフの災害への意識を高め、意思統一も図っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

長野市大豆島地区の閑静な住宅街に開設16年目を迎えた当ホームがある。基本理念「安らぎの空間の提供」の下、利用者個々の思いを受け止めて楽しく穏やかに過ごして頂ける様な支援に取り組んでいる。コロナ禍で制約を受けながらの活動が続いていたが、新型コロナの5類への移行を受け、出来る所から少しずつコロナ前の生活に戻す活動を進めている。家族の面会は電話で事前予約の上で、事務所または居室で15分位を目安に行っている。また、感染対策を取りながらのホーム内行事も再開し、今年の敬老会は数家族が利用者と一緒にお弁当を食べるとともにボランティアによる楽器演奏を楽しんだ。4月には近隣の桜の名所に花見に出掛け、5月にはドライブを兼ねて須坂に鯉のぼり見学、7月には長野市権堂の七夕見学にも出掛けた。更に11月には大豆島支所で開催される菊花展覧学にも出掛ける予定を立てている。感染対策を取りながら利用者に楽しんで頂ける様な工夫をしながらの活動を続けている。最高齢102歳の利用者を筆頭に77歳まで年齢差25歳と親子ほど年が離れている状況下において、職員はその状況を踏まえて利用者の好みを把握し、様々な工夫を重ねて利用者個人個人に寄り添い、全職員が気持ちを一つにして支援に取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができて (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある			○	3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)		1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが			○	2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				